

学習項目の要素について (31 人と付き合う)

(凡例)

- ★： 基本的な生活基盤の形成に不可欠であり、かつ複雑なコミュニケーションを必要とせず、外国人が主体的に動くことが必要とされる「生活上の行為」の事例、又は安全にかかわる（緊急性がある）「生活上の行為」の事例のいずれかを示す。
- ☆： 「★」と同旨の事例のうち、「理解すること」が求められる「生活上の行為」の事例を示す。

あいさつについて

3101010 ☆ あいさつの種類と目的を理解する

- あいさつと呼ばれる生活上の行為には、いくつかの種類とそれぞれの目的があることに留意する必要がある。大別すると、実質的な内容のある情報を伝えることが目的のあいさつと、実質的な内容の情報を伝えるのではなく、あいさつを交わす人同士の人間関係を良好に維持することが目的のあいさつとに分かれる。前者には、例えば、引っ越しや店舗開業を知らせるあいさつ、冠婚葬祭の日時や場所を知らせて出席などを依頼するあいさつ、出産・入学・卒業・就職などを知らせたり祝ったりするあいさつなどがある。また後者には、日常生活の中の朝・昼・夕・夜のあいさつ、道で人と出会ったり別れたりする時のあいさつ、食事を始める時や終わる時のあいさつ、取り立てて伝える用件を含まない年賀状や暑中見舞い状のあいさつなどがある。
- 前者のあいさつは、印刷されたり手書きされたりした書き言葉によって相手に届く・送られる場合や、改まった儀式的の場面で文字通り改まった言語行動として行われる場合などが多い。そのあいさつの中で表現され伝えられるのは、招待、祝賀、弔問など、生活の中での重要な相手への働きかけである。これに対して、後者のあいさつは、たとえば「こんにちは」「さようなら」「じゃ、またね」など、その言葉自体によって伝わる実質的な情報内容は希薄なものであって、そうした言葉を相手にかけ、相手からもそれに対応する言葉を受けるといった言葉のやりとり自体が意味を持つ。そうしたやりとりによって、相手との良好な人間関係を開始したり継続したり収束させたりするのが目的のあいさつである。後者は、実質的な情報を伝えるとは言えないものであるだけに、それぞれの場面ではあいさつするものであるという言語習慣を意識的に理解したり習得しないと、実際のあいさつをする言語行動が定着しにくいと言える。日本語の学習や指導の留意点であるゆえんである。

3101040 ☆ あいさつの文化的相違を理解する

- 言語社会によってあいさつに文化的な相違があることはしばしば指摘され、日常的にも経験される。日本語の学習や指導においても留意すべきことがらである。あいさつの言語表現に関する文化的な相違として注意すべきことがらとして、一つ一つのあいさつ言葉の表す意味の異同がある。特に、朝夕のあいさつ、日常の出会いや別れのあいさつなど、実質的な内容を伝えることを主眼とせず、あいさつ言葉を交わすこと自体で良好な人間関係を維持するという種類のあいさつ言葉には、もとの意味を既に失いかけた化石化した言語表現がそれぞれの言語社会で用いられる場合が多い。こうしたあいさつ言葉の元々の意義は、改めてさかのぼると実に多様である。例えば「さようなら」「こんにちは」「おめでとう」などを意味する諸言語のあいさつ言葉を例にして考えると、このことが理解できるだろう。
- あいさつを、どのような場面で、どのような事柄について、どのような相手に向かってするのかということについても、言語社会による文化的な相違がある。例えば、日本語では、食事を始める時(いただきます)と終わる時(ごちそうさま)や、家を出かける時(行ってきます／行ってらっしゃい)と帰った時(ただいま／おかえりなさい)には、定型化した言語表現と共にあいさつ言葉を発するという定型性が見られる。ある調査(国立国語研究所による)では、ドイツ語社会ではこれらの場面でのあいさつ言葉は非常に多様であって、あいさつ言葉を発すること自体の定型が日本語社会に比べて希薄だという差異が観察された。あるいは、例えばエレベーターに乗り合わせた見知らぬ人に会釈や微笑みを送ったり、短いあいさつ言葉を掛けたりするのは、多くの欧米社会で普通に観察されることであるのに比べて日本語社会ではむしろまれである。場所や相手との関係によるあいさつ習慣の差異だと言える。
- あいさつの言語表現に伴う身振りや身体接触など非言語的な行動について文化的な差異が大きいことも留意すべきである。前(3101020)で触れたとおりである。これと同じように、言語表現に伴うことがらであいさつの文化的差異として留意すべきものごとは少なくない。例えば、あいさつ言葉を発する際の声の大小(強弱)にも言語社会による異同が指摘される。東南アジア(タイやベトナムなど)では、レストランなどの店員が客に大声で呼びかけることは少ないようで、日本でも「威勢の良さ」を演出するかのように入客を迎え入れる店員の大声は、そうした言語社会から来た人に不快感や違和感を与えるものだという(国立国語研究所調査から)。

3101020 ☆ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する

- あいさつに用いる言葉には、そのあいさつの用向きや場面に合った言語表現が用いられる。その言語表現について特に留意すべきは、それぞれのあいさつ場面ごとに多かれ少なかれ定型化した、決まり文句のように用いられる表現があるということである。言うまでもなく実質的な内容のある情報を伝えるあいさつには、その内容や用向きにふさわしい言葉が選ばれる。例えば、祝い事であれば「おめでとう(ございます)」「お慶び申し上げます」など、お礼であれば「ありがとうございます」, お詫びであれば「申し訳ございません」「すみません」などである。一方、実質的な内容を伝えるというより、言葉を交わすことにより人間関係を良好に保つ目的のあいさつでも、朝は「おはよう(ございます)」, 夕方や夜は「今晩は」, 食事の始まりは「いただきます」, 終わりは「ごちそうさま」などの定型的な表現が用いられる。このあいさつ言葉の定型性は、ほかの言語社会にも見られるが、日本語社会でも顕著であって学習や教育において特に留意すべきことがらである。
- 同じような場面で用いるあいさつ言葉にも、相手との人間関係やその場の改まりの程度などによる多様性が見られる。例えば、お礼の言葉では「謹んで御礼申し上げます」「ありがとうございます」「ありがとう」「サンキュー」など、日常の別れのあいさつでは「それではこれで失礼いたします」「ごきげんよう」「さようなら」「さいなら」「それでは」「それじゃ」「じゃ」などのように多様である。すべての学習者が多様な表現に習熟することは不要であるとしても、TPOに沿ったあいさつの型があること自体には留意すべきだろう。
- あいさつに関して、もう一つ留意すべきは、言語表現に伴う身振り、身体接触、姿勢、表情などの非言語的行動である。そのうちでも、日本語社会のあいさつに重要な役割を果たすのは、「お辞儀」と呼ばれる上半身と頭部の前屈の身振り・姿勢である。これは、あいさつの種類や目的、込める気持ち(祝い・礼・わびなど)の深さなどに応じて、前屈の角度の浅さ・深さが変わり、それに添えられる上肢(腕や手)の位置、さらに表情などが変わる。この他に、西欧社会など他の言語社会で多く見られる握手、抱擁、接吻などが、日本語社会では相対的には少なく、限られた場面や相手だけに用いられることにも留意する必要がある。

31 人と付き合う★	能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	語彙	四技能				
		場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く	
3101	あいさつをする												
	3101010 ☆ あいさつの種類と目的を理解する												
	3101020 ☆ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する												

3 1 人と付き合う★	能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	語彙	四技能				
		場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く	
3101030 ★	時宜にあったあいさつを学んで実行する (年賀状や暑中見舞いのやりとりをする)	会社の上司や先生などに短い表現で年賀状を書くことができる	自宅	上司 先生	年末に自宅で年賀状を書く	1 新年あけましておめでとうございます 昨年中はいろいろお世話になり、ありがとうございました。 今年もどうぞ よろしく願いたします。 2009年元旦 グエン・パン・タン	時の名詞+中(期間) 取り立て助詞 は 動詞マス形で終わる節(理由) 取り立て助詞 も(付加) 接頭辞 お(美化語) 動詞いたす(「する」の謙譲形=謙譲語Ⅱ)	儀礼(挨拶) 儀礼(感謝) 単独行為要求(依頼)	新年 あけましておめでとうございます 昨年 ~中 いろいろ 世話 お世話になる ありがとうございました 今年 どうぞ よろしく 願いたします いたす 年 年賀状				○
	送られてきた賀状に簡単な表現で礼状を書くことができる	自宅	部下 同僚 学生・生徒	新年に送られてきた賀状に対して返事を書く	2 新年あけましておめでとうございます お年賀状、ありがとうございました 今年もよろしく願いたします 2009年1月5日 田中 英子	接頭辞 お(美化語) 取り立て助詞 も(付加) 動詞いたす(「する」の謙譲形=謙譲語Ⅱ) 接頭辞お+動詞マス形+いたす(謙譲語Ⅱ)	儀礼(挨拶) 儀礼(感謝) 単独行為要求(依頼)	年 月 日			○	○	
	夏の暑い時期に簡単な表現を使用し、書状を書くことができる	自宅	先輩 先生	立秋前の暑い夏に暑中見舞いの書状を書く	3 暑中お見舞い申し上げます 暑さ厳しき折 お体ご自愛ください	動詞申し上げる(「言う」の謙譲形=謙譲語Ⅱ) 形容詞語幹+さ一名詞 形容詞語尾 き(古語 名詞修飾) 接頭辞 御+漢語動詞語幹+ください(尊敬語)	儀礼(挨拶) 単独行為要求(依頼)	暑中 見舞い 申し上げる 暑さ 厳しい 折 体 自愛する					
	(年末年始のやりとりをする)	年末の簡単なあいさつを言うことができる	近所	近隣の知り合い	年末に隣の人に道で会う	B1: あしたから北海道へ旅行に行きます。マリアさん、どうぞよいお年を。 A1: どうぞよいお年を。	動詞マス形+格助詞 に(目的)+動詞 行く どうぞ+名詞+格助詞 を(願望) 接頭辞 お+名詞(美化語)	意志表示 儀礼(挨拶)	あした から 北海道 旅行 行く どうぞ よい 年 どうぞよいお年を あけましておめでとうございます	○	○		
		新年の簡単なあいさつをすることができる	会社 近所	近隣の知り合い 会社の人	新年に会社や近所であいさつをする	B2: あけましておめでとうございます。ことしもどうぞよろしく願いたします。 A2: あけましておめでとうございます。こちらこそ、どうぞよろしく願いたします。	取り立て助詞 も(付加) 取り立て助詞 こそ(卓立)	儀礼(挨拶) 単独行為要求(依頼)	ことし こちら どうぞよろしく願いたします	○	○		
	(結婚のお祝い)	簡単な表現で結婚のお祝いの言葉を言うことができる	会社 結婚式場	同僚 先輩	結婚する同僚へお祝いを手渡す	【職場で結婚する人へお祝いを言う】 A3: ご結婚おめでとうございます。これ結婚のお祝いです。 B3: どうもありがとうございます。	接頭辞 御+名詞(尊敬語) 接頭辞 お+名詞(美化語)(美化語)	儀礼(祝福) 儀礼(感謝)	結婚 おめでとうございます お祝い	○	○		
		お祝いの気持ちを表すことができる	結婚式場	同僚 先輩	会社の同僚の結婚式に招待され、式が終わり退出する	【結婚式場で帰りのあいさつをする】 A4: 本日はおめでとうございます。とてもいい結婚式でした。 B4: 今日は来ていただいて本当にありがとうございます。 A4: どうぞお幸せに。	取り立て助詞 は(提題) 動詞テ形で終わる節(理由) 動詞テ形+動詞いただく(「もらう」の尊敬形)(謙譲語Ⅰ)	関係づくり(ほめ) 儀礼(感謝) 関係づくり(願望)	本日 とても いい 式 今日 来る いただく 本当に ありがとう 幸せ どうぞお幸せに	○	○		
(葬式に参列する)	短い表現で葬式のあいさつを言うことができる	葬式	葬式の受付	友人の葬式に行く	A5: このたびはどうぞ(ごしゅうしょうさまです)。 B5: おそれいります。こちらにお名前とご住所をお書きください。 【東京都港区虎ノ門 3-25-2】	取り立て助詞 は(提題) 接頭辞 お+名詞(尊敬語) 接頭辞 御+名詞(尊敬語) 接頭辞 御+漢語動詞語幹+ください(尊敬語)	儀礼(挨拶) 単独行為要求(依頼)	この たび どうぞ ごしゅうしょうさまです おそれいります こちら 名前 住所	○	○			
(見舞いに行く)	病院の受付で簡単な表現で用件を告げることができる	病院	病院の受付	病院へ見舞いに行く	A6: すみません、510号室の林さんのお見舞いに来ました。 B6: それではここにお名前をお書きください。 (氏名と時間を書く。)	動詞マス形+格助詞 に(目的)+動詞 来る 格助詞 の(同格) 接頭辞 お+動詞マス形+ください(尊敬語) 格助詞 に(場所)	注目要求 単独行為要求(依頼)	すみません 510 号室(号、室) 林 ~さん 見舞い それでは	○	○			

3 1 人と付き合う★				能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	語彙	四技能			
					場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く
				入院した人の居場所を尋ねることができる 簡単な表現で見舞いの気持ちを言うことができる 退出することを伝えることができる	病院 病室	看護師 入院患者	居場所を確認する 入院しているおばあさんと話す お花をわたす いとまごいをする	A 7 : すみません、林さんはここですね。 B 7 : ええ、そうですよ。一番奥の窓側のベッドが林さんです。 林さん、お客様ですよ。 A 7 : おばあさん、いかがですか。 C 7 : まあ、トーさん、悪いね。こんな所まで来てもらって。 きれいなお花。 A 7 : そろそろ失礼します。おばあさん、どうぞお大事に。	終助詞 ね (確認) 終助詞 よ (主張) 格助詞 の (名詞修飾) 接頭辞 お+名詞+接尾辞 様 終助詞 か (質問) 疑問詞 いかが (疑問詞「どう」の尊敬形) 動詞テ形+もらう 縮約形+ムード形式 ちゃう (=てしまう) 指示詞 こんな 格助詞 まで (到達点)	注目要求 同意要求 注目表示 (同意) 情報提示 儀礼 (挨拶) 情報要求 注目表示 (確認) 関係づくり (感謝) 注目表示 (感想) 儀礼 (挨拶) 関係づくり (願望)	ここ 名前 書く すみません ええ そう 一番 奥 窓 側 ベッド 客 お客様 おばあさん いかが まあ 悪い 悪いね こんな 所 来る きれいな 花 そろそろ 失礼する お大事に	○	○		
		(引越しの挨拶)	引越しのあいさつをすることができる 引越し先で簡単なあいさつをすることができる	近所 近所	隣の人 隣の人	近所の人に引越しすることを告げる 隣の人に引っ越してきたことを告げる	【引越しのあいさつをする】 A 8 : あした、川崎へ引っ越します。いろいろお世話になりました。 B 8 : まあ、そうですか。どうぞ、お元気で。 A 8 : はい、ありがとうございます。 A 9 : ごめんください。隣に引っ越してきた木村です。どうぞよろしく お願いします。 B 9 : 鈴木です。こちらこそ、どうぞよろしく。 A 9 : これどうぞ。 B 9 : まあ、どうもすみません。	格助詞 へ (方向) 間投詞 まあ 動詞テ形+動詞 来る (接近) 節+名詞 (名詞修飾) 取り立て助詞 こそ (卓立)	儀礼 (感謝) 注目表示 (確認) 関係づくり (願望) 注目要求 情報提示 儀礼 (挨拶) 単独行為要求 (受領) 儀礼 (感謝)	引っ越す 川崎 あした いろいろ 世話 お世話になりました また そう どうぞ お元気で (元気) ありがとうございます ごめんください 隣 引っ越す 木村 どうぞよろしくお願 います 鈴木 こちらこそ どうぞ どうも すみません	○	○	○	○	
3101040	☆	あいさつの文化的相違を理解する													
3101060	★	相手に合わせたあいさつをする	相手に応じたあいさつをすることができる	道家 会社 公共の場	知り合い 友人 上司 同僚 部下 初対面の人	道で人と会う 会社で人と会う 公民館などの公共の場で人と会う 訪問する	A 1 : おはようございます。毎日暑いですねえ。 B 1 : そうだね、本当に暑いねえ。 A 1 : この間は、ごちそう様でした。 B 1 : いえ、こちらこそ、お土産をありがとうございました。	終助詞 ねえ (同意要求) 格助詞 を (対象)	儀礼 (挨拶) 注目表示 (確認) 儀礼 (感謝)	おはようございます この間 ごちそう様でした こちらこそ	○	○			
3101080	★	日常のあいさつをする	あいさつの種類を選択することができる あいさつの相手による表現の違いを選択することができる 自分から挨拶すべき状況を判断できる あいさつに伴う非言語行動ができる 相手の挨拶に応じることができる	職場 職場 職場	上司 同僚 上司	出勤する 出勤時に応答する 退出する	A 1 : 課長さん、おはようございます。 B 1 : やあ、〇〇さん、おはよう。 B 2 : 〇〇さん、おはようございます。 A 2 : おはようございます。 B 2 : 今日はいい天気ですね。 A 2 : そうですね。 A 3 : 今日はこれで失礼します。 B 3 : お疲れ様でした。	職位+さん (上司) 姓+さん (同僚、部下) 間投詞 やあ 取り立て助詞 は (提題) 終助詞 ね (確認) 取り立て助詞 は (提題)	注目要求 儀礼 (挨拶) 注目表示 (承認) 注目要求 儀礼 (挨拶) 同意要求 注目表示 (同意) 儀礼 (挨拶)	課長 さん おはようございます おはよう やあ 今日 いい 天気 です これで 失礼する お疲れ様	○	○			
3101130	★	人間関係のきっかけを作るあいさつをする	今後付き合いをする相手を選べる 初対面の挨拶ができる	不特定の場所	初対面の相手	今後付き合いたい相手と出会う	A 1 : はじめまして。(名前)と言います。(国名)から来ました。 B 1 : ああ、(国名)ですか。(名前)さん? A 1 : はい。(名前)です。よろしくお願います。 B 1 : こちらこそ、よろしくお願います。わたしは、(名前)です。	格助詞 から (出发点) 動詞タ形 (完了) 終助詞 か (疑問) 質問の音調 ~? 取り立て助詞 こそ (卓立) 取り立て助詞 は (提題)	儀礼 (挨拶) 情報提示 注目表示 (確認) 情報要求 単独行為要求 (依頼)	はじめまして(慣用表現) 名前(A) と 言う ます 国名	○	○			

3 1 人と付き合う★	能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	語彙	四技能			
		場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く
								から 来る た ああ(感動詞) です か(終助詞) さん はい よろしくお願いします (慣用句) こちらこそ(慣用表現) わたし は 名前(B)				